主な90年の村のあゆみ

註 Mは明治、Tは大正、Sは昭和、Hは平成の略

M34年	11月1日五か村合併「横越村」誕生
T9年	第一回国勢調査1、326世帯、人口7、453人
S10年	青年学校発足
S20年	7月20日B29爆撃機1機焼山に墜落
S21年	沢海診療所開設
S22年	新制中学校発足横越小学校に併設
	横越診療所開設
S23年	中学校校舎建設
S25年	木津・二本木診療所設置
	沢海小学校ミルク給食始める
S33年	横雲橋流失
S35年	中央保育園建築
S39年	双葉保育園建築
S40年	沢海保育園・小杉児童館建築
S41年	村民プール建設
S44年	家畜診療所設置
S49年	横越村商工会設立
S50年	村内4小学校閉校
S51年	統合小学校開校
	スクールバス購入
S52年	中央保育園改築
S53年	小学校プール建設
S54年	中学校南校舎改築
	横雲橋歩道橋竣工
	第一回農業祭
S55年	新有線放送開局12/1
	下水道管渠工事始まる
	双葉保育園改築
S56年	茨城県美浦村との姉妹村の縁組
S58年	沢海に農村環境改善センター完成
S60年	役場新庁舎完成
S61年	小杉にコミュニティセンター完成
H1年	老人福祉センター完成
	デイサービスセンター完成
H2年	木津工業団地完成
	横越大祭始まる
H3年	二本木に勤労者体育センター完成
	中学校グランド・球技場完成
H4年	中学校体育館完成

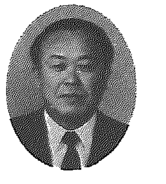
村民憲章

私は　横越村民として――
悠久に流れる阿賀野川のように
大空にかかる　横雲橋のように
大地に波うつ　稲穂のように
――人間性豊かなふるさとをつくりたい

一、働くことを喜び、生産にはげむいきいきしたむら
一、土と緑に恵まれたうるおいのあるむら
一、スポーツと文化を楽しむあかるいむら
一、老人をいたわり、青少年をはぐくむあたたかいむら
一、なんでも話し合い、力を合わせるみんなのむら

昭和56年11月6日制定

輝しい伝統と地域づくりで21世紀へ飛躍



村長
浅見良一

合村九十年のあゆみの中で輝かしい伝統と歴史を礎石として来るべき高令化社会や経済社会の高度化に対応するため社会資本整備・促進が緊急課題となっています。

一方、高度情報化、国際化時代の新しい潮流の中で、国際都市を目指す新潟市の背後地として本村の果す役割も一層重要になりました。

このような中で、町制施行と二十一世紀の飛躍を目指して次のことを推進していきます。

①恵まれた豊かな自然を生かし、生活と産業の調和のとれた地域づくり
②潤いと安らぎをとり戻し、安全な生活環境、健康で文化的な新しい街づくり
③新横雲バイパス、大阿賀橋をはじめ国道四十九号線の歩道改良の整備促進
④健康で快適な生活環境を創設するために景観やアメニティを考慮した新たな都市基盤整備
⑤水質汚濁防止等のため全村下水道の整備促進
⑥ゆとりある住生活のため、良質な宅地、住宅の確保

ところで、合村九十周年記念の一環として、九月十五日には、NHK特別巡回ラジオ体操会を開催し、今、その成功に向け、全村民あげて取り組んでいます。

また、十月には、イベントを考慮していますので、今後とも村発展のため、ご協力をお願いします。

村の九十年をふりかえっていただき次の三名の方々から思い出、印象を語ってもらいました。

横越
元教員
曽我広見さん(78)

取り壊し直前の「横雲橋」は、最高の飛び込み台。

一九二五年（大正十四年）横雲橋は、阿賀野川改修工事に伴い、現在の大堤防が完成。高くなった堤防上から新しい木橋が架橋され竣工したので旧橋の百米上流に移築された。

新横雲橋の竣工式は、七月四日であったから、その直後から旧橋の取り壊しが始まり欄干の撤去が開始されると同時に、学校の夏休みとなり、小学校五年生の私は家族から「クロ、クロ」と呼ばれる子カッパであり、終日阿賀野川を泳いでいた。

この年の水泳の楽しみは、この取り壊し中の橋から川に飛びこみ、二百米も流れに乗って下ると中島と呼ぶ浅瀬に達し、陸に上がり新堤を歩いて戻り、再び橋から飛びこみ、この繰り返しが最大の喜びであった。

これが、この年の新田地区の男の子達の嬉しい楽しみであった。

小杉
元収入役
長瀬平太郎さん(76)

明治三十四年五ツの村が合併した当時の人口は、八、四八八人、戸数一、三九〇と記録されている。

ところで戦後、土地解放、土地改良、増産運動は、農村だけでなく日本経済の発展に大きな役割を果たしてきたが今その美田の一部が住宅・工場団地となり発展していく姿に目を見張り、時の流れを感じさせられる。

現在の人口は、一万人に近くなり世帯数も二千三百を超えている。町政施行もまた近いと聞く。

さて「中核都市構想の新潟市との関連は」といろいろ想いを巡らすと楽しい。

合村九十年を振り返り、苦難を乗り超え、この村を守り育てて来た先人達の努力に敬意を表し、故郷の限りない発展を心から念じてやまないものである。

焼山
斉藤栄吉さん(87)

一番印象に残っているのは昭和二十年七月二十日、焼山にB29が墜落したこと。

斉藤さんは、若い時からあまり病気らしい病気はしたことがない。

また、青年時代は、スポーツが好きで、特に百米走や幅とび、高とびが好きで、選手になって大会にでたことも印象に残っており、今の時代であれば、もっとおもしろかったということを話されていました。

ひかり・風・青春　はたちのときめき

二十歳の式典といわれる成人式が八月十五日、沢海の農村環境改善センターで行なわれます。

本年、横越村の成人式該当者は百十二名（内、男子五十名、女子六十二名）です。

成人式を控えた本年度該当者の中から六名の方々に、成人式を迎えるにあたり、抱負等を聞いてみました。

横越中
市村　忠

二十歳となり、今年成人式を迎えます。

成人と呼ばれるからには、社会的にも一人前として認めてもらえるよう、自己の発展に努力していきたいと思います。

木津上
大嶋　政樹

横越村民のみなさん、こんにちは、唐突ですが、私は沢海の長芋が大好きです。二本木の梨も大好きです。そんな横越村が私は大好きです。私は一生横越村民でいたい。

あと、私はまだ二十歳なので、今まで梨は一個しか食べれなかったけど、これからは二個食べたい。

横越中
小木もえ子

成人と呼ばれる歳になったけど、まだまだ夢がいっぱいありすぎて困っちゃう、だけど、まだ若いんだから、もっと冒険をして、一歩一歩夢に近づいていきたいと思います。

横越下
市村　一也

今年成人式を迎えるわけだが、あまり実感が湧かない。まだ蒼い面が残っているので、成人式を区切りとして、自分の生き方を再度考え直してみようと思う。

沢海中
松本由紀子

時の流れは早いもので、ついこの前までランドセルをかついで小学校に通っていた私が二十歳になりました。

成人して一番に思うことは出逢いは人生の中の宝物だということです。悲しみや喜びを分け合う友達も、苦しい時つらい時、私を励ましてくれた先生や家族も、私が生まれてきたからこそめぐり逢うことのできた人達です。これからも沢山の出会いが待っていると思いますが、その一つ一つを大切にして、素直に前進する心を忘れずに頑張りたいと思います。

沢海中
中村　豊

二十歳になって、学生から社会人となり変わったと感じることは、〃自分の時間〃が少なくなったこと、現在それ以外に感じることはない。それだけ学生時代、時間をいかにルーズに使っていたかがわかる。

社会人としての厳しさを知っていくのはこれからだと思うが、それに負けず、今一番感じている〃自分の時間〃を大切にしていきたい。

社会のできごと

昭和46年から平成3年

◆1971（昭46）◆
○0歳
○中国が国連に加盟
○沖縄返還協定に調印
○ニクソンショックで不況
○力士、大鵬引退
◆1972（昭47）◆
○1歳
○田中角栄、内閣首相となる
○ミュンヘン五輪開催
○上野動物園にパンダ登場
◆1973（昭48）◆
○2歳
○オイルショックにより物価の狂乱
○振替休日制実施
◆1974（昭49）◆
○3歳
○経済成長率が実質でマイナスとなる。
○長嶋茂雄選手、現役引退
○超能力ブームがおこる
◆1975（昭50）◆
○4歳
○英国のエリザベス女王来日
○紅茶キノコが話題となる
◆1976（昭51）◆
○5歳
○ロッキード事件
○モントリオール五輪開催
○五つ子ちゃん誕生
○泳げたいやきくん大ヒット
○西堀ローサがオープン
◆1977（昭52）◆
○6歳
○王選手756本塁打で世界の王となる
○ピンクレディーが大人気
○スーパーカーブーム来日
◆1978（昭53）◆
○7歳　小学校入学
○一等前後賞つきの宝くじが発売される
○下越を中心に豪雨
◆1979（昭54）◆
○8歳　小学2年生
○アジアでは初の東京サミット開催
○インベーダーゲームが日本侵略
○大清水トンネル貫通
◆1980（昭55）◆
○9歳　小学3年生
○レーガン大統領誕生
○モスクワ五輪開催
○山口百恵引退
◆1981（昭56）◆
○10歳　小学4年生
○スペースシャトル打上成功
○「なめんなよ」のなめ猫が一大流行に
◆1982（昭57）◆
○11歳　小学5年生
○五百円札から五百円硬貨へ
○東北・上越新幹線開通
◆1983（昭58）◆
○12歳　小学6年生
○中曽根内閣スタート
○大韓航空機撃墜
○東京ディズニーランドが千葉県浦安にオープン
◆1984（昭59）◆
○13歳　中学校へ入学
○かい人二十一面相、ロス疑惑等の事件がおきた
○エリマキトカゲが大流行
○酒税が引き上げられる
◆1985（昭60）◆
○14歳　中学2年生
○電電公社とたばこ専売が民営化となる
○阪神タイガース日本一に
○新潟新県庁舎落成
◆1986（昭61）◆
○15歳　中学3年生
○円相場が値を上げる
○ハレー彗星が76年ぶりに地球に接近
◆1987（昭62）◆
○16歳　高校へ入学
○竹下内閣スタート
○石原裕次郎死去
○M・ジャクソン、マドンナ旋風まきおこる
◆1988（昭63）◆
○17歳　高校2年生
○イラン・イラク戦争終わる
○ソウル五輪開催
◆1989（平成元年）◆
○18歳　高校3年生
○平成元年のスタート
○消費税導入
○リクルート疑惑等で宇野首相退陣
○ベルリンの壁崩壊
◆1990（平成2）◆
○19歳
○統一ドイツ誕生
○日本人初の宇宙飛行士誕生
◆1991（平成3）◆
○20歳
○湾岸戦争の勃発
○ソビエト連邦の崩壊
○バブル経済崩壊
○宮沢りえ写真集に話題騒然